



予算審査特別委員会って？ part.2

⇒次年度予算案について審議する場を“予算審査特別委員会”と言います。この委員会は議員全員で構成され、今回は令和2年度予算案について2日間集中的に審査が行われました。

QRコードを読み取り、令和2年度予算審査特別委員会を選択すると一般質問が視聴できます。



予算審査特別委員会

【中村 憲一 委員長のコメント】

2月3日に令和2年度富士宮市一般会計予算他10予算が議案として送付されてから38日後、3月12日、13日に当委員会は開催されましたが、その間の新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、日常生活が一変した中での審査となりました。各予算に関連した新型コロナウイルス感染症に係る質疑も活発になされ、関心が高い（仮称）郷土史博物館検討事業については、全委員の協力により規律のある激論が交わされました。

議決が原案に対する修正動議と原案賛成附帯決議に二分したのも、全委員による熱心な審査の結果です。



▲中村憲一 予算審査特別委員会委員長

会派が注目する令和2年度に予算化された事業

日本共産党 議員団	首都圏シティセールス推進事業 合計 769万9千円	令和元年度、今までふるさと納税してくれた4万5千人にメールアンケート実施。返礼品のモノからコトへと市の魅力を発信し、訪れ定住へつなげようとする発想が評価できる。今後の事業効果を期待したい。
政経会	E-BIKE（電動アシスト自転車） 利用促進委託料 合計 800万円	朝霧高原を中心に貸し出し台数50台であり、高低差はあるが、E-BIKEの機能を活かし、多くの観光客の方々に富士宮市の自然に触れていただきたい。また、将来は市中心部にも導入し、訪れた人たちの市街地回遊及び活性化が大いに期待できる。
富岳会	E-BIKE（電動アシスト自転車） 利用促進委託料 合計 800万円	朝霧高原を中心とした北部地域10箇所にバイクステーションを設け、E-BIKE、50台を配備して北部地域の観光客の回遊を図る。体験型観光の人气が高まる中、富士山の麓を巡るサイクリングは北部観光の目玉になるものと期待できる。
令和	妊娠出産子育てシェアサポート 事業委託料 合計 300万円	従来、その他の事業委託料も含めて合計600万円で随意契約されていたものが分割され、当事業のみで300万円でプロポーザルにより事業者選定されることになった。
公明会	市民相談事業、都市交流事業、 保育所運営事業及び世界遺産推 進事業 合計 35万円	多言語自動翻訳機については市民部2台、保健福祉部3台、産業振興部5台、合計10台導入する。観光客・市在住外国人・災害時の使用、さらには主要外国語だけではなく、年に数人しか来ない少数言語の方にも通訳可能。多文化共生の視点からも重要であると考え。
蒼天	病院事業会計 （収益的収入・資本的収入）へ の繰出金 合計 14億円	令和元年度に続き令和2年度もこの金額になった。令和元年度は地域包括ケア病棟の開設にかかるコストが大きく影響したが、令和2年度はどのようにしてこの状況を改善していくのか富士宮市立病院の取組に注目したい。
芙蓉	景観形成推進事業 合計 650万円	本事業として無電柱化推進計画策定委託料が計上された。防災・安全、景観形成、観光振興などの観点から電柱・電線を地下埋設していくための計画である。富士山を中心とする自然環境・自然景観を大切にする本市として、念願の無電柱化に向けた第一歩である。